

じちきょう

発行/西蒲区自治協議会
編集/西蒲区自治協議会広報部
事務局/西蒲区役所地域総務課
〒953-8666 西蒲区巻甲2690番地1
TEL0256-72-8143/FAX0256-72-6022
E-mail chiikisomu.nsk@city.niigata.lg.jp

広報部会委員のおすすめスポット

西蒲区自治協議会第9期の広報部会委員がおすすめするスポットです。ドライブやお散歩のついでに、ぜひ立ち寄ってみてください!

1 上堰潟公園 953-0015 新潟市西蒲区松野尾1



私のおすすめスポットは上堰潟公園です!上堰潟公園は四季を感じられる場所で、いつ行っても異なる景色を見られるところがおすすめです。



古井委員

2 ロケット倉庫 953-0015 新潟市西蒲区菅根903-2



滅多に見られないロケットや部品には、解説があり興味が増すばかり!ロケットファンはもちろん、有名人もお忍びで来るほど魅力が詰まっています!



鈴木委員

※見学を希望される場合は、西川不動産 (☎0256-88-2335)まで連絡をお願いします。

3 国道116号 明田交差点付近 959-0413 新潟市西蒲区升潟 県道46号



西蒲区の平野を見下ろしながら、豊かさが感じ取れるこの場所は、季節の楽しみを教えてください。気持ちいいドライブコースですよ!

4 稲島の大杉 953-0027 新潟市西蒲区稲島 稲島コース入口付近



角田山の稲島コースの入口に、天然記念物の大杉があります。この大杉は、昔落雷にあったと伝えられており、その力強さからパワーが感じられます!稲島口から角田山に登るときに、お参りする人もいるそうです。登山する際はぜひ一度見てみてください!



徳井委員



5 三根山藩社公園 953-0075 新潟市西蒲区峰岡78-3



江戸時代に240年続いた三根山藩は戊辰戦争で敗れ飢饉状態にあった本家長岡藩へ積年の恩に報いるべく、救援米100俵を届けました。長岡藩では、その米で学校を作り、人を育て、後世に多くの偉人を輩出しました。



遠藤委員

7 鎧潟から見る角田山 959-0521 新潟市西蒲区鎧潟



田んぼに水が張られる時期は、水面に逆さ富士ならぬ「逆さ角田」を見ることができます。かつてこの地域が潟だったときの風景が思い出されて、とても懐かしく感じます。



徳井委員

8 両郡橋 950-1322 新潟市西蒲区六分 県道55号



初代両郡橋は「おてい橋」。河原で両郡橋を眺め、明治時代のおてい橋に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。おすすめです!(両郡橋の中之口側入口付近には、おていさんのエピソードが記されています)



本田委員

6 石瀬神社 953-0141 新潟市西蒲区石瀬4448



かつての山岳信仰の聖地の佇まいを今に伝える場所です。境内には、神様が降りると言われる磐座(いわくら)があります。ぜひ探してみてください。



田中委員

令和5年度西蒲区自治協議会の事業報告です!

西蒲区自治協議会は、毎月開催される会議でさまざまなことを協議するほか、地域をより良くするための事業に取り組んでいます!

総務部会

「演劇で学ぼう 大切な命を守る 今すぐできる防災を」を開催しました

令和6年2月18日(日)に西川多目的ホールにて、西蒲区防災啓発事業「演劇で学ぼう 大切な命を守る 今すぐできる防災を」を開催しました。当日は299人から来場いただきました。

■ 第1部 講演会「西蒲区の活断層について」

講師として新潟大学災害・復興科学研究所教授 ト部厚志様をお招きし、西蒲区を震源とする大地震が発生した場合の被害想定や、西蒲区の活断層の位置、日ごろから備えることの大切さなどをお話いただきました。

■ 第2部 防災演劇「Be prepared～大切な人のために出来ること～」

劇団KURITAカンパニーから、大地震が発生したときにどう行動したら良いか、また、避難所で起こりうるできごとなどを演じていただき、防災意識を高めることができました。

■ 第3部 アフタートーク「今すぐできる防災について」

ト部厚志様、日本防災士会新潟県支部事務局長 成川一正様、防災演劇に出演された荒井和真様、西蒲区自治協議会総務部会 田中久美子委員、柳原大輝委員によるトークでした。それぞれの立場で、今すぐできる防災についてお話いただきました。

■ 第4部 質疑応答

ト部厚志様と成川一正様による質疑応答がありました。西蒲区で地震が起きたときの揺れ方や地震の発生確率について質問がありました。

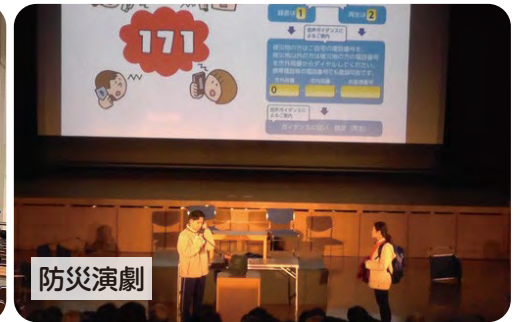


講演会



アフタートーク

来場者からは、「西蒲区の活断層や津波のことが理解できた」「演劇にすることで、よりリアルに防災について学ぶことができた」などの感想をいただきました。



防災演劇

本日の学び

- ☑ **笛を常備!**
助けを求めるときは笛を使うと良い。
- ☑ **一度避難したら家には戻らない!**
余震で家が倒壊し、避難所に戻って来られないケースもある。命より大事なものは無い。
- ☑ **避難所では、個人情報はお教えしてもらえない!**
DV被害やストーカー被害など、さまざまな問題を抱えている方のために、避難所本人に確認してからの開示となる。

保健福祉部会

信友直子さん講演会&映画上映会を開催しました

令和6年2月24日(土)に菴文化会館で「信友直子さん講演会&映画上映会」を開催しました。当日は、589人が来場し、認知症患者とその家族のあり方について学びました。

■ 映画上映会～ぼけますから、よろしくお祈りします。～

ドキュメンタリー監督 信友直子さんが、ご自身の父(当日95歳)が、認知症を患った母(当日87歳)の介護などをする姿を撮った作品「ぼけますから、よろしくお祈りします。」を上映しました。娘である信友直子さんの視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いた作品で、認知症に苦しむ母、それを支える父。ともに手を取り合い支え合う姿が映し出されていました。

映画を見た多くの人は、感銘を受け、家族のあり方や、老老介護の現実などを見つめる場となりました。

■ 信友直子さん講演会

「認知症の母が命懸けで教えてくれたこと」を演題に講演いただきました。

母が認知症になったことによって変わったご自身や父・母に関する話があり、介護を家族だけで抱え込まず介護のプロの人たちと役割を分担し、家族が、認知症の人の前でいつでも笑顔でいることが大事。そうすることで、患者に家族と一緒に暮らしても良いという安心感を与えることができると話してくれました。

そして、家族の役割で一番大切なことは、「本人に愛していると伝えること。また、日ごろからご近所と付き合い、お互い様の関係が築くことが大事」と来場者に家族愛とご近所付き合いの大切さを訴えていました。

支え合いと助け合いの連鎖を起こそう!「3のつく日は支え合いDAY」

西蒲区自治協議会では、西蒲区が支え合いと助け合いにあふれるまちになることを願って、「3のつく日は、支え合いDAY」とし、支え合いと助け合いの大切さについて区役所だよりなどを活用して呼びかけています。



参加者からの声

参加者からのいただいた声です。

- 笑顔で一日一日過ごしたい。
- 夫婦で笑いながらともに一生懸命支え合いながら生活したい

ご来場いただいた方から支え合いに関するアンケートにお答えいただきました。

- 5～10年先を見据えて不安なことはありませんかと問いに約8割の方が不安とお答えがありました。
- また、身の回りで支え合いが必要なことについての問いには「家族介護」「買い物」「通院」に多くの答えがありました。

まちづくり・産業部会

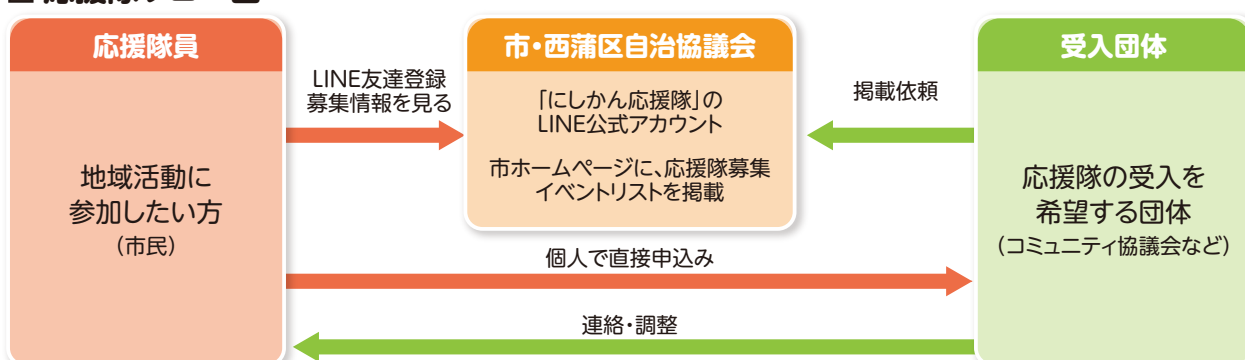
「にしかん応援隊」制度をつくりました (ボランティア)

「地域のイベントのお手伝いを通じて交流を深めたい」という市民の皆さんとイベントスタッフの人手不足で困っている地域団体とつなぎ、相互交流を図る制度をつくりました。

「にしかん応援隊」のLINE公式アカウントに登録すると、応援隊を募集するイベント情報が配信されるので、興味があるものに申込み、「応援隊」としてお手伝いすることができます。

この制度は令和5年度中にモデル実施を行い、令和6年度から本格実施します。ぜひ、自分が住んでいる地域や他の地域のイベントをお手伝いしてみましょう。

■ 応援隊フロー図



詳細はこちらから
(市ホームページ)



モデル実施を行いました

令和5年12月3日(日)に潟東地域で開催された「かもん!カモねぎまつり」で、この制度のモデル実施を行い、西蒲区自治協議会委員が「にしかん応援隊」として参加しました。当日は受付やかも汁の提供などのお手伝いを行いました。

参加者は「イベントに協力できたことに喜びを感じた」「他の地域の人たちとの交流ができて楽しかった」などの感想がありました。また、今回「にしかん応援隊」を受け入れていただいた、潟東地域コミュニティ協議会からは「積極的にお手伝いいただき、大変助かった」などの感想がありました。

